

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. トップセールスについて</p> <p>①11月に台湾で行われたトップセールスの成果と今後の取り組みを伺う。</p> <p>2. 日南町の魅力発信について</p> <p>①町内には魅力的な場所も多くあり、訪問者がさらに魅力を感じられるように写真映えする看板等設置の必要性を感じるが見解を伺う。</p> <p>②ウォーキングが各まちづくり協議会を中心に開催されているが、日南町としてガストロノミーを開催しさらに魅力発信してはどうか見解を伺う。</p> <p>③「にちなんおろちマラソン」は全国に発信できたイベントであった。日南町の特色を生かしたイベントで活性化をはかってはどうか見解を伺う。</p> <p>3. 町有不動産について</p> <p>①サウンディング調査及びアンケートが行われた物件もあるが、以下の物件の検討状況と今後の管理について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧木下家</li> <li>・おおくさ荘</li> <li>・かすみ荘</li> <li>・旧福栄小学校</li> <li>・旧花口分校</li> <li>・フラワーセンター</li> <li>・三本松農場</li> </ul>	<p>1.</p> <p>①販路拡大、誘客などに繋がる内容であった。引き続き3町連携で取り組むとともに、町内事業者の販路拡大等に取り組んでいく。</p> <p>2.</p> <p>①各地域と連携し日南町へ来てもらう仕組みを検討していく。</p> <p>②中心地域の各地域ワークショップでも歩けるまちづくりの声をいただいた。誘客につながる仕組みを検討していく。</p> <p>③大規模なイベント開催は人的確保の観点から困難。山里 Load にちなんと連携し交流人口、誘客の増加につながるイベントの計画に努めていく。</p> <p>3.</p> <p>①旧木下家及びおおくさ荘は、来年度サウンディング調査対象施設として検討している。かすみ荘は、中心地域整備構想と併せた活用を検討している。旧福栄小学校は、解体予定であるが、解体までの間、地元活用のため開放している。旧花口分校は、来年度解体撤去する予定で検討している。フラワーセンターと三本松農場は、サウンディング調査の結果、事業者から共にバイオマス発電事業での活用提案を受けており、年度内には審査会を行う予定としている。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

## 近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁要旨
<p>1. 女性議会を振り返って</p> <p>11月16日の女性議会に於いて4人の議員から、実体験に基づいての質問、提案がなされたが、求めておられた答弁が引き出されなかったのではと感じ、少しでも女性議員の想いに応える意味において、つぎの5つの点について伺う。</p> <p>①里親並走型子育て支援として、各地域に移住者の里親としてのお助けネットワークを構築することで、習慣や文化を知り慣れない土地での不安解消につながると思う。また、母親の体調が悪い時、家に来て家事の代行や育児を手伝ってもらえる仕組みづくりは、安心につながると思うが町長の見解を伺う。</p> <p>②子育ては予期せぬアクシデントの連続で、フルタイムで働きたくても働けないのが現実である。隙間時間でも、家での事務作業でも求めておられる事業所を募集することはできないか。</p> <p>③日南町は3か月間雪に閉ざされ、しぐれる日も多い。中心地域でなくても町の遊休施設を整備して、思いっきり遊べる施設は考えられないか伺う。</p> <p>④子育て支援センターについては、施設が手狭になった問題を共有しただけにとどまった。土地の制約もありと言われたが、その解決策は示されなかった。対策をどのように考えているか伺う。</p> <p>⑤ごみを分別することでどのように再資源化されるのか。可燃ごみを減らすことで財政負担がどれだけ軽減されるのか、広報を強化することで意識が深まると考えるが町長の考えを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①既存のファミリーサポート事業を活用して家事の代行や育児のサポートなどを行い、子育て中の家庭を支援していく。</p> <p>②仕事を頼みたい人と探す人を結ぶLINEオープンチャット「日南おしごとバンク」の活用をお願いしたい。今後は、企業側の「とっとり子育てプレミアムパートナー」事業の拡大に尽力したい。</p> <p>③子どもの居場所や遊べる施設については必要だと認識しているが、町内各地域での施設活用は、今後の公共施設の維持・管理、利用者の利便性等考慮しながら検討していく必要があると考えている。</p> <p>④居室の利用方法や保育環境の整備について社会福祉協議会と協議し必要な対策を行う。</p> <p>⑤資源ごみの多くは製品原料として再資源化している。可燃ごみを減らしても本町の直接的な焼却経費の削減にはつながりにくいですが、有価物として売却している古紙の分別徹底について財政負担の面から広報することは有効と考える。</p>

2. 地域の持続的発展について

①地域からは日南町も一極集中が進み「取り残される」「忘れられそうだ」との声を聞く、そう言った声に対する町長の考えを伺う。

2.

①今後の中心地域整備計画に当たっても、コンパクトヴィレッジ構想に変わりはない。中心地域発展だけでは地域全体の幸福度を高めることはできない。声をしっかり反映させ取り組んでいく。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁要旨
<p>1. 子育て支援センターについて</p> <p>①女性議会で提言された「児童専用のウッドデッキを設置できないでしょうか。」について、町長は「社会福祉協議会と状況把握、利用方法を含め検討していきます。」と答弁されたが、現状どこまで対策案を検討されているのか。</p> <p>2. 外国人材育成雇用プロジェクトについて 外国人材育成雇用プロジェクトの現況と今後の取組及び課題等について伺う。</p> <p>①日南病院内定者の2名についての来年度からの実習先と今年度中の予算執行状況はどのようになっているのか。</p> <p>②令和7年度の鳥取城北日本語学校での留学生の面談予定人数は。</p> <p>③令和7年度のモンゴルゾーンモド市からの雇用予定人数と今後の計画は。</p> <p>④町内事業者の外国人実習生の希望人数のニーズ調査をされたのか。</p>	<p>1.</p> <p>①先日現地を確認し状況の把握をした。今後、居室の利用方法や保育環境の整備について社会福祉協議会と協議し必要な対策を行う。</p> <p>2.</p> <p>①内定者の2名の就学先は、島根県安来市の大阪健康福祉短期大学 地域総合介護福祉学科 安来キャンパスを予定しており、今年度末までに1,807,000円の支出を予定している。</p> <p>②事業所からのプレゼンテーションを受けて就労希望者との面談となるため人数は未定である。</p> <p>③雇用予定は未定であるが、友好関係をアピールし本町での就労につなげたい。</p> <p>④外国人材育成プロジェクトは事業者の負担も大きくニーズ調査はしていない。即戦力が必要な事業者は技能実習によりそれぞれが人材の確保をしている。</p>
<p>3. (株)オロチの修繕費等の経営支援について (株)オロチの地盤沈下による修繕費が6月補正予算で承認されたが、執行状況及び効果について伺う。</p> <p>①工期はいつから始まり、いつ完了したのか。</p>	<p>3.</p> <p>①連続式 LVL 製造装置 CLP-8000 の地盤沈下修繕については7月3日着手、7月8日に完成している。プレス機 K-3 の追加工事分については、10月20日着手 10月23日に完了している。</p>

<p>②対策効果は報告を受けたのか、または検証されたのか。 次に、町として(株)オロチに対し林業振興発展のため色々と経営支援を行うことは重要と思っている。 そこで、(株)オロチの令和5年度決算書18期を基に4点について伺う。</p> <p>③(株)オロチが町に納付する地代家賃はいくらか。 ④加工施設等の使用料額はいくらか。 ⑤固定資産税額はいくらか。 ⑥加工施設等の町の支援額及びその他の支援額はいくらか。</p> <p>4. 日南病院新築について</p> <p>①11月～12月にかけて、町内7地域でまちづくり懇談会を開催され、病院新築について町民の皆様から意見を聴取された。現時点での町長の思いはどうなのか。また、決定時期は年度末の3月末で変わらないのか。</p>	<p>②対策報告を受けた。作業性、製品のロスが解消された。</p> <p>③地代は、年1,323,297円 ④令和5年度5,876,238円 ⑤地方税法上の守秘義務の対象になるため、公表は控える。 ⑥加工施設等の修繕費4,729,200円で、その他の支援はない。</p> <p>4. ①町民の不安や心配に対し丁寧な説明を続ける必要を感じている。また、物価高騰や町の財政状況を勘案すると、計画の見直しを含めて引き続き議論を深めたいことから判断は来年度まで延期したい。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

荒金 敏江議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 中学生ピロリ菌検査について</p> <p>①住民検診で、20歳から65歳の希望者を対象にピロリ菌検査が行われている。20代のピロリ菌検査受診者数を問う。</p> <p>②「幼少期にピロリ菌に感染し胃炎がある程度進むと、ピロリ菌除菌では完全に胃がんを予防することができず、除菌後に胃がんが発見される。そこで胃がん予防を行うには、胃炎の悪化がまだ進んでいない若い世代でのピロリ菌除菌が必要になる。」と日本ヘリコバクター学会が作成した「中学生ピロリ菌検査と除菌治療 自治体向けマニュアル（2023年4月24日改定）」に書かれており、中学2年生での検診が推奨されている。日南町でも実施すべきではないか。</p> <p>2. 介護人材不足対策について</p> <p>①日南福祉会では職員が確保できず、介護サービスを十分提供できない状況が続いているが、この状況をどう考えているかを問う。</p> <p>②介護保険法第115条の49に保健福祉事業はどのように規定されているのか。</p> <p>③日南町で行っている保健福祉事業の内容を問う。</p> <p>④「介護保険施設の運営その他の保険給付のために必要な事業」として、介護人材の確保対策を取り組むべきと考えるが、町長の見解を問う。</p> <p>⑤介護給付費準備基金の活用も検討すべきではないか。</p>	<p>1.</p> <p>①ピロリ菌の20代の受検者は、令和5年度は0人、令和6年度（10月時点）は3人。</p> <p>②未成年者への積極的な検診は、国の推奨には至っていない。関係機関等と連携し、調査・研究したい。</p> <p>2.</p> <p>①人材不足が介護サービスの安定的提供に影響を及ぼしている。日南福祉会と連携し、人材育成、養成、確保に引き続き取り組む。</p> <p>②介護者支援、介護予防、保険給付、サービス支援等、町が必要と判断し、被保険者、介護者に対して実施できる事業。</p> <p>③保健福祉事業として実施しているものはない。</p> <p>④保健福祉事業は、第1号保険料を財源としており、実施には検討が必要である。</p> <p>⑤保健福祉事業費等の不足額に充てることも可能な基金であり、有効な活用について検討している。</p>

<p>3. ふる里まつりなどでの自衛隊の車両展示について</p> <p>①ふる里まつりで自衛隊車両の展示が行われた年度と展示車両の種類を問う。</p> <p>②車両展示がされるようになった経緯と、目的を問う。</p> <p>③自衛隊による地震や大雨などの災害地での活動を否定しないが、政府が防衛費の大幅増額をすすめている中、非核平和宣言の町での自衛隊車両の展示はふさわしくないと考えるが、町長の見解を問う。</p>	<p>3.</p> <p>①記録がある平成 21 年度以降、6 回展示している。平成 21 年度は高機動車、軽装甲機動車。平成 22 年度は高機動車、軽装甲機動車、73 式小型トラック。平成 24 年度は高機動車、73 式小型トラック。平成 29 年度、令和元年度、令和 4 年度は軽装甲機動車。</p> <p>②働く車の展示を通して、子どもから幅広い世代へ生命・財産を守る活動を身近に感じていただくことを目的としている。</p> <p>③目的の趣旨からみて、何ら問題はない。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. デジタル推進について</p> <p>①情報化推進計画が第3期地方創生総合戦略に統合される方針が示されたが、その経緯について、どのような検討が行われたのか伺う。</p> <p>②情報化推進計画アクションプランで設定された28項目の推進項目について、それぞれの目標指標の達成状況と評価を伺う。</p> <p>③『ケーブルテレビを活用した暮らしの実証事業』の現時点での進捗状況を伺う。</p> <p>④上記実証事業は令和7年度のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、全町への環境構築を目指す計画であるが、今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>⑤7月より転出者をターゲットに日南町公式LINEアカウントを開設したが、現在の登録者数と利用状況について伺う。</p> <p>⑥転入・転出手続き、子育て支援、ゴミの分別方法などの窓口業務にAIやナレッジベースを活用することで、住民サービスの向上と行政事務の効率化が期待できる。初期投資は必要であるが、早期導入の可能性について伺う。</p> <p>⑦携帯電話不感地域への基地局設置が厳しい状況にあると承知しているが、国や通信事業への要望を継続的に行うことが重要である。今年度における解消に向けた具体的な活動を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①国の国家総合戦略の方針を受け、第3期総合戦略に統合することを決定。7月の第3者評価委員会で方針について説明、承認をいただいた。</p> <p>②アクションプラン28項目のうち達成済み7項目、計画通りの進捗7項目、進捗が遅れているのが14項目である。遅れている項目についてはDX推進チーム会議で達成にむけて議論する。</p> <p>③11月末現在で66件の申込に対し32件の設置が完了し利用いただいている。</p> <p>④令和7年度に、利用された方からの意見をもとに改善や新たなサービスを追加しながら令和8年度の交付金を申請する予定。よって令和8年度に本格運用する。</p> <p>⑤11月末時点で登録者136名、2週間に1回程度情報発信している。</p> <p>⑥AIやナレッジベースの導入は、住民サービス向上と行政業務の効率化の実現に向けた有力な手段であり、町全体での導入に向け、検討を重ねているところである。今後、業務の効率化や費用対効果等を勘案しながら総合的な方針のなかで検討していく。</p> <p>⑦大手4キャリアとの個別面談で整備をお願いしたが4G電波でのエリア整備は厳しい回答であった。キャリア4社だけでなく要望は続けていく。</p>
<p>2. 地域コミュニティについて</p> <p>①今年度、各まちづくり協議会事務局に役場職員を数日間派遣する取り組みが行われたが、</p>	<p>2.</p> <p>①まちづくり協議会と町との連携を強固にしていく体制づくりができないか模索を行っ</p>

その目的、具体的な取り組み内容、そして今後の展開について伺う。

②各地域のまちづくり協議会は平成18年度までに設立され、令和7年度には設立20周年を迎える。この節目を振り返り、今後のまちづくり協議会の在り方を考える良い機会として、記念事業などを計画すべきと考えるがどうか。

③地域おこし協力隊員は、まちづくり協議会を含む地域コミュニティ活動への参加が業務内容の一つとされているが、まちづくり協議会などとの連携状況について伺う。

た。7地域に延べ28人の地域担当職員を派遣し、イベント取組支援、事務補助等を行った。来年度は通年で派遣要請があった際に配置することを考えている。

②5か年計画を策定するタイミングでもあり、まちの未来を考えるワークショップを行い、新たなまちづくり宣言を行うイベントも計画する。

③本年度、各地域で行った中心地域整備計画のワークショップや地域行事への参画など、今後も地域と連携しながら未来を共に切り開く存在として期待している。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

## 岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. ごみの減量化とリサイクルについて</p> <p>①環境立町推進協議会では10月25日に、ごみリサイクルの先進地である徳島県・上勝町の視察研修を行った。改めて、上勝町のごみ処理の特徴について問う。</p> <p>②上勝町の取組みを踏まえ、日南町が現在取り組んでいる可燃ごみの減量化のために、さらにどのような取組みが可能か問う。</p> <p>③可燃ごみの減量化が進めば、西部広域行政管理組合が建設を計画しているような大規模な可燃ごみ焼却施設は必要なくなるのではないか。</p> <p>2. 有機農業と有機（オーガニック）給食について</p> <p>①日南町にもサテライト会場が開設された11月8日開催の「全国オーガニック給食フォーラムin常陸大宮」では、基調講演で東京大学教授の鈴木宜弘氏らが講演し、戦後、米国の余剰農産物が日本に押し寄せ米国に都合の良い食生活や学校給食が進められたことや、給食を核にした自給圏づくりの重要性などが説かれた。町長は鈴木氏らの指摘についてどのように考えるか。</p> <p>②日南町のオーガニックビレッジの取組みは、鈴木氏らの指摘と合致した大変重要な取組である。オーガニックビレッジの取組みで、今年得られた具体的成果（有機米、有機野菜の収穫量など）と、オーガニック給食実施の状況（予定を含む）を問う。</p> <p>③有機米、有機野菜の作付面積を増やし、オーガニック給食をより多く実施するための方策を問う。</p>	<p>1.</p> <p>①大きな特徴は、ごみ収集車がなく、町民が町内1か所のごみ収集所にごみを持ち込んでいることと、生ごみを全て自家処理していることである。</p> <p>②可燃ごみの減量には、可燃ごみに多く含まれる紙類と生ごみを減らす必要がある。古紙の分別強化と、生ごみの自家処理の推進が有効であり、それに向けた取組が可能である。</p> <p>③可燃ごみの減量化が進むと、大規模な焼却施設の必要性は減少する可能性があるが、ごみの減量化を見込んだ計画であり、適正な施設規模であると考えます。</p> <p>2.</p> <p>①戦後の「食」に関する日米外交史について、私個人の歴史評価を述べるのはふさわしくないと考えるので差し控える。日南町オーガニック推進プロジェクトの趣旨は、まさに講師の言う「自給圏づくり」に他ならない。栽培技術が確立していない本町の有機農業に関しては、給食や公共調達など生産農家の下支えが重要と考える。</p> <p>②今年度の成果は、水稲1ha、野菜は4品目（ニンジン、キャベツ、ピーマン、トマト）を実証栽培した。オーガニック給食については、保育園でニンジンを利用しており、小中学校では検討中である。</p> <p>③まずは身近な出口戦略として、オーガニック給食の割合を大きくし、消費拡大による作付面積の増加を目指す。</p>

### 3. 鳥獣対策について

- ①新規就農者と従来からの狩猟者に対し、異なる奨励金を設定しているが、従来からの狩猟者のやる気をそぐことになっていないか。
- ②町内ではシカも目撃され、鳥獣被害のますますの拡大が懸念される。奨励金を増額するとともに、季節や狩猟経験によらない金額としてはどうか。

### 4. 被爆アオギリと非核平和の町宣言について

- ①被爆アオギリについて以前も取り上げたが、説明プレートの設置など被爆アオギリを知っていただくための十分な措置が依然として取られていない。また、日南町の非核平和の町宣言についても表示しているモニュメントなどが見当たらない。

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞し、核兵器の残虐性、非人道性と、核廃絶を訴えることの重要性が強く認識されている。町としても、被爆アオギリの説明プレートの設置や非核平和の町宣言の表示を行ってはどうか。

### 3.

- ①狩猟者のやる気がなくなったとの話は伺っていないが、同じ額の方が良いなどの話を伺った。
- ②令和7年度は、季節や狩猟経験などによらない奨励金体系を検討する。

### 4.

- ①設置者である日南町職員労働組合と協議を進めている。現在の場所では除雪による被害もあり、移植を含め保存と啓発方法を検討中である。引き続き設置者と検討していく。また、非核平和の町宣言の表示は、様々な啓発を継続して行っており、看板等の設置は考えていない。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

高橋 洋志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 林業アカデミーの運営状況について</p> <p>①開校からの卒業生数及び本町就職者数について伺う。</p> <p>②他町からの学生の住まいについて、学生寮及び専用町営住宅もあって良いと考えるが如何か。</p> <p>③在学中に取得する資格及び経費について伺う。</p> <p>2. 子育て環境について</p> <p>①高校生の通学について、自宅と生山駅間が公共交通の重要課題と考える。特に帰宅時の町営バスの運行を検討してはどうか。</p> <p>3. 小水力発電について</p> <p>①現有発電所の稼働状況と売電収入及び運用について伺う。</p> <p>②農業用水路を利用した発電所を地元企業と連携して建設してはどうか。</p> <p>③再生可能エネルギーで町内全戸の電力を供給できるよう積極的に取り組んではどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①令和元年から5年度までの卒業生は49人、本町就職者数は14人。</p> <p>②入学者の半数以上が県外であるため、専用住宅は必要と考えている。</p> <p>③資格取得は林業系を中心に12種類。経費は一人あたり294,040円。</p> <p>2.</p> <p>①平成29年に公共交通確保対策協議会で議論し19時台のバスは廃止した経過があり、今後、利用からの声が多く寄せられるようであれば検討する。</p> <p>3.</p> <p>①新石見小水力発電所の令和6年4月から7か月間の売電収入は7,557千円であった。売電収入は、電気事業債の償還や維持管理費の財源としている。</p> <p>②具体的に検討している案件はないが、ご意見として伺う。</p> <p>③現状では、新たな町営発電所の建設は考えていないが、町内の再生可能エネルギーの導入については推進していく。</p>